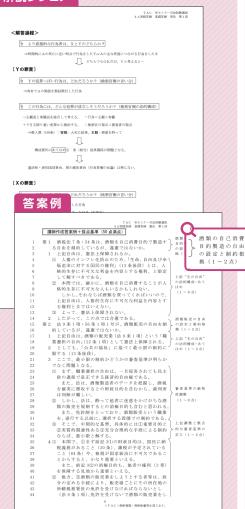
自ら解説レジュメ・答案例まで作成!

4Aを使った一貫した 答案スタイルを身に付ける!

「4A実践答練」は、私自らが解説レジュメ・答案例までを作成します。そのため、「4A基礎講座」から一貫して「4A」で問題を解くプロセスを身に付けることができ、「4A」を駆使した答案スタイルを身体に染込ませていきます。

解説レジュメ



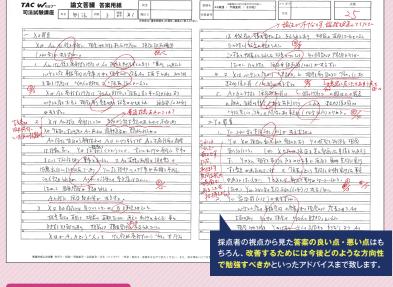
まず、参考答案を見て、自分の書いた答案と照らし合わせる のが第一です。参考答案の右側には、採点基準を記載。配点 を見ることで、合格答案になるためには、どの部分をどれくら い書くべきだったかが一目瞭然!

弁護士による、客観的な採点!

丁寧な添削指導と、充実した講評で合格ラインの見極めができる!

提出いただいた答案は、私以外の弁護士が採点基準に基づき、丁寧な添削を施し返却します。そのため、客観的な採点者の着眼点(▶絶対的な合格ライン)と、今後の勉強の方向性が見えてくることでしょう。さらに、受講生の答案を見て書いた講評と、提出答案からセレクトした受講生の答案を、後日配布します。これらを読むことで、相対的な合格ラインの感覚が把握できるようにもなってきます。

答案添削



講評・受講生の答案

1 初回の答練、いかがでしたか?最初から高得点がとれたらもちろんすごいことですが、点数が帯か った人は、その分、伸びる余地があるということです。いずれにせよ、これからいかに実力を伸ばし ていくかの機負ですから、1 限 1 間の点数にめげずに、最後まで試行傭終しながら実力を伸ばす努力 企し続けた人が積ちます。2 2 間とも、処理平順が確立されていないと思われる答案は、当務ながら反数が伸びていませんでし た。この処理手順を確立することが基礎答練の第1目的(cf. TAC司法試験講座パンフP14)なので、 衣田以降、これを目指して予習してください。 また、第1・2 間で時間配分を進ったためか、第2 間が途中算常になったりして、得点がアンバラン スになってしまった答案が目立ちました。これから徐々に、時間管理についても様々に試行錯誤しな がら、訓練を積ん 現時点での合格ラインは、2問合計で50点という印象です。 1 第1問 ア 酒類を自己消費目的で製造する自由と酒類販売の自由は、どちらから書いてもよかったでしょ 5 (元 配付) 大學理由協助 酒報法の条文は、初回の割には喜く他えていたと思います。ただ、あくまで加点事由にすぎな いことは意識しましょう。 画面の製造・販売をまとめて検討していた答案もわずかにありましたが、点数が伸びていません した。法的構成 (保障される人権) が異なるはずですから、分けて検討すべきでしたね。 ア 将期を自己消費目的で製造する自由について これも療法上保障されるとした答案がほとんどでした。その修では、さらに規範定立・あ てはめをすることになりますが、あてはめ内容が画顔販売の自由とかなりかぶってくる(cf. 受講生答案L57~63) ので、将点効率が高くなってしまったでしょう (イ) 上記自由を、製造用の機械等を使用する自由や製造した消骸を所有する自由と読み替えて 財産権 (90条130) 構成をしていた発展もありましたが、その原名様々になったと解析があ るでしょう。問題文をありのままに捉えないと、出題意図からずれるリスクが高まりますよ。 (ウ) 幸福追求権(13条後級)構成をしていた答案のほとんどが、その解釈論を書けていません でした一要反省です!論文本試験では、ほとんどの受験生がスラスラ書い らです。コンパクトに核心を突いた形で書けるように準備しておきまし

出題者の視点や実際の受講生の答案作成レベル等を把握することで、復習はもちろん、 今後の答案作成にも活かしてください。

さらに安心!

個別相談サービス「個別答案指導」!

「4A実践答練(全科目)」と「4A基礎講座バック」をお申込みの方への特典として、私自身が、皆さんの答案(構成)を見て、具体的な改善策等のアドバイスをする「個別答案指導」を、定期的に実施します。個別指導は私の真骨頂とも自負していますので、ぜひご利用ください。

※個別相談サービスの詳細は「個別相談制度」にてご確認ください。